



東方経済フォーラムニュース

ウシャコフ大統領補佐官は、ロシアは日本に対し49項目の協力計画を提示し、東方経済フォーラムの中でその協議の中間結果が示されることを明らかにしました。

(「プライム」)

「サハリン州発展公社」は大規模農場建設計画に80億ルーブルを資金提供することを明らかにしました。協定は東方経済フォーラムの枠内で署名されることになっています。ここでは近代的な牛乳の加工施設で、牛乳、発酵乳、チーズを含む19品目の乳製品を生産することになっています。

(タス通信)

総額1兆5000億円にのぼる30件以上の大規模投資プロジェクトが東方経済フォーラムのピッチングセッション（参加者による短いプレゼンテーション）で提案されます。ロシア連邦極東発展省の選抜したプロジェクトが同セッションで提示されることになっています。これはプレゼンテーションゾーンでロシアおよび外国投資家、企業経営者、国家行政機関および報道機関の代表者が直接対話する形式で行われ、提案者が最大限詳細にプロジェクトについて説明し、投資家が当事者から将来的なプロジェクトの詳細をすべて知ることが可能となります。投資家らは、このような形式でプロジェクトを提示することによってこれに注目を集めるだけでなく、さらに具体的なプロジェクトや地方全体に追加的投資を集めることができるようになるものと見ています。

(タス通信)

極東ニュース

優先的発展地域「ウラジオストク」の居住者企業である有限責任会社「テクノニコー極東」は、玄武岩繊維断熱材製造工場を立ち上げました。プロジェクトの枠内では、さまざまな断熱材を製造する工場2か所が建設されることになっています。投資総額は28億ルーブルにのぼり、274人の雇用が創出されることになっています。

（「アムールプレス」）